

令和5年青森県花き生産状況

農産園芸課

1 概況

令和5年の本県花きの生産状況は、作付面積が62ヘクタール（前年比79%）、出荷数量が1,033万本・万鉢（同80%）、出荷額が9億5,600万円（同77%）となった。また、農家戸数は604戸（同88%）であった。

作付面積、出荷数量・額ともに減少しており、要因として担い手の高齢化や高温障害が関係していると考えられる。

【生産状況】

年次 \ 項目	作付面積 (a)	出荷数量 (万本・万鉢)	出荷額 (百万円)	農家戸数 (戸)
令和5年	6,236	1,033	956	604
令和4年	7,877	1,288	1,247	689
令和5年/令和4年	79%	80%	77%	88%

【農産園芸課調べ】

2 作付面積

(1) 切り花類

切り花類の作付面積は40ヘクタール（前年比73%）であった。

品目別では、キク類（輪ギク、小ギク、スプレーギク、ディスプレイバッドマム）が12ヘクタールと最も多く、花き全体の19パーセントを占めた。次いで、トルコギキョウが6ヘクタール、サクラ（枝物）が6ヘクタール、ヒマワリが3ヘクタール、アルストロメリアが2ヘクタール、カンパニュラが1ヘクタールの順となった。

ヒマワリ、カンパニュラは前年より増加し、アルストロメリアは前年並、キク類、トルコギキョウ、サクラ（枝物）は減少した。

(2) 鉢ものの類

鉢ものの類の作付面積は7ヘクタール（前年比84%）であった。

品目別では、シクラメンが1ヘクタールで最も多く、次いでカラシコエ、ポインセチアがそれぞれ0.4ヘクタールであった。

(3) 苗ものの類

苗ものの類の作付面積は3ヘクタール（前年比94%）であった。

【作付面積】

(単位：a)

区分	年次	令和5年		令和4年		R5/R4
		面積	割合	面積	割合	
切り花類		3,981	63.8%	5,463	69.4%	73%
主要品目	キク類	1,203	19.3%	1,457	18.5%	83%
	輪ギク	535	8.6%	784	10.0%	68%
	小ギク	301	4.8%	208	2.6%	144%
	スプレーギク	226	3.6%	296	3.8%	76%
	ディスプレイバッドマム	141	2.3%	169	2.1%	84%
	トルコギキョウ	603	9.7%	776	9.8%	78%
	アルストロメリア	192	3.1%	192	2.4%	100%
	カンパニュラ	120	1.9%	106	1.3%	113%
	ヒマワリ	324	5.2%	284	3.6%	114%
	デルフィニウム	45	0.7%	41	0.5%	110%
	サクラ(枝物)	570	9.1%	610	7.7%	93%
	バラ	60	1.0%	84	1.1%	71%
	ユリ類	51	0.8%	52	0.7%	99%
	宿根カスミソウ	50	0.8%	65	0.8%	77%
その他切り花類	762	12.2%	1,796	22.8%	42%	
鉢ものの類		653	10.5%	778	9.9%	84%
主要品目	シクラメン	115	1.8%	127	1.6%	91%
	カラコエ	40	0.6%	16	0.2%	250%
	ポインセチア	40	0.6%	10	0.1%	400%
	サクラソウ	31	0.5%	33	0.4%	94%
	その他鉢ものの類	427	6.8%	592	7.5%	72%
苗ものの類		338	5.4%	358	4.5%	94%
花木類		125	2.0%	138	1.8%	91%
芝類		400	6.4%	400	5.1%	100%
球根類		740	11.9%	740	9.4%	100%
合計		6,236	100%	7,877	100%	79%

【農産園芸課調べ】

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

3 出荷額

(1) 切り花類

切り花類の出荷額は6億4,200万円(前年比86%)であった。

品目別では、キク類(輪ギク、小ギク、スプレーギク、ディスプレイバッドマム)が2億2,100万円(同90%)と最も多く、全体の20パーセント以上を占めた。次いで、トルコギキョウが1億4,700万円(同88%)、アルストロメリアが9,500万円(同76%)、カンパニュラが3,000万円(同108%)、バラが2,400万円(58%)、ヒマワリが2,200万円(同100%)の順となった。

(2) 鉢ものの類

鉢ものの類の出荷額は1億5,800万円（前年比50%）であった。

主な品目では、シクラメンが3,700万円と最も多く、サクラソウが2,800万円となった。

(3) 苗ものの類

苗ものの類の出荷額は9,200万円（前年比73%）であった。

【出荷額】

（単位：百万円）

区分	年次	令和5年		令和4年		R5/R4
			割合		割合	
切り花類		642	67.1%	744	59.6%	86%
主要品目	キク類	221	23.1%	245	19.6%	90%
	輪ギク	97	10.1%	117	9.4%	83%
	小ギク	10	1.1%	12	0.9%	86%
	スプレーギク	46	4.8%	52	4.1%	89%
	ディスプレイマム	68	7.1%	64	5.1%	106%
	トルコギキョウ	147	15.4%	167	13.4%	88%
	アルストロメリア	95	9.9%	124	9.9%	76%
	カンパニュラ	30	3.1%	28	2.2%	108%
	ヒマワリ	22	2.3%	22	1.7%	100%
	デルフィニウム	4	0.4%	3	0.2%	119%
	サクラ（枝物）	4	0.4%	5	0.4%	81%
	バラ	24	2.5%	41	3.3%	58%
	ユリ類	1	0.1%	2	0.2%	58%
	宿根カスミソウ	10	1.0%	11	0.9%	88%
その他切り花類	85	8.9%	97	7.8%	87%	
鉢ものの類		158	16.5%	312	25.0%	50%
主要品目	シクラメン	37	3.9%	44	3.5%	85%
	カランコエ	2	0.2%	7	0.5%	23%
	ポインセチア	1	0.1%	8	0.6%	13%
	サクラソウ	28	2.9%	33	2.6%	86%
	その他鉢ものの類	90	9.4%	221	17.8%	41%
苗ものの類		92	9.6%	127	10.2%	73%
花木類		2	0.2%	2	0.1%	106%
芝類		40	4.2%	40	3.2%	100%
球根類		23	2.4%	22	1.8%	101%
合計		956	100%	1,247	100%	77%

【農産園芸課調べ】

（注）数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

4 地域別の生産状況

(1) 作付面積

地域別では、中南地域が21ヘクタールで全体の33パーセントを占め、西北地域が16ヘクタール、三八地域が14ヘクタール、東青地域が7ヘクタール、上北地域が4ヘクタール、下北地域が0.4ヘクタールとなった。

東青地域では、高齢化による生産者の減少が著しかったため、前年比35%と大幅に減少した。

(2) 出荷額

地域別では、中南地域が3億4,600万円で最も多く、次いで三八地域が2億8,500万円、西北地域が2億3,200万円、上北地域が5,700万円、東青地域が3,400万円、下北地域が290万円となった。

上北地域では、冬期間の鉢もの類の加温栽培を取りやめたため、前年比24%と大幅に減少した。

【地域別生産状況】

【a、百万円】

地域	作付面積					出荷額			主な品目
	令和5年	割合	令和4年	割合	R5/R4	令和5年	令和4年	R5/R4	
東青	712	11%	2,028	26%	35%	34	43	79%	キク、トルコギキョウ、カーネーション、ヒマワリ、スターチス
中南	2,054	33%	2,026	26%	101%	346	410	84%	アルストロメリア、トルコギキョウ、サクラソウ、バラ、キク
三八	1,423	23%	1,469	19%	97%	285	314	91%	キク、カンパニュラ、トルコギキョウ、シクラメン、ヒマワリ
西北	1,621	26%	1,826	23%	89%	232	238	98%	キク、トルコギキョウ、シクラメン、ユリ(球根)、グラジオラス(球根)
上北	384	6%	486	6%	79%	57	239	24%	観葉植物、バラ、パンジー(苗もの)、アルストロメリア、カーネーション
下北	43	1%	43	1%	100%	2.9	2.8	102%	トルコギキョウ、キク、アスター、ペゴニア
合計	6,236	100%	7,877	100%	79%	956	1,247	77%	

【農産園芸課調べ】

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

5 湿式輸送の状況

切り花の鮮度保持のための湿式輸送出荷は、JA花き部会を中心に実施されている。品目別では、カンパニュラは湿式輸送出荷率が100パーセント(出荷数量42万本)で実施されており、そのほかの品目は30パーセント以下であった。

【切り花類の湿式輸送状況】

(単位：a、千本)

品目	施設・露地栽培計			
	作付面積	出荷数量	湿式輸送出荷量	湿式輸送出荷率
カンパニュラ	120	420	420	100%
ヒマワリ	324	324	78	24%
キク類	1,203	2,622	614	23%
トルコギキョウ	603	1,016	195	19%
シャクヤク	13	16	0.05	0.3%
合計	2,263	4,398	1,307	30%

【農産園芸課調べ】

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

6 JAの花き生産の状況（JA全農あおもり取扱状況）

(1) 花き取扱状況

JA全農あおもりの令和5年花き取扱量（県内JAの全取扱数量）は、551万本（前年比96%）であった。

また、販売額は5億6,300万円（同95%）であった。

(2) 販売額割合

県出荷額に対するJA全農あおもりの販売額のシェアは59パーセントと前年より12ポイント増加した。

【JA全農あおもりの取扱状況】

項目	農協数	取扱数量 (千本)	販売額 (百万円)	販売単価 (円/本)	県出荷額 (百万円)	シェア※
令和5年	8	5,508	563	102	956	59%
令和4年	8	5,767	591	103	1247	47%
令和5年/令和4年	100%	96%	95%	99%	77%	—

【JA全農あおもり調べ】

※シェア：(JA全農あおもり販売額÷県出荷額)×100

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。